

# セルビアの文化を訪ねる旅

セルビアは、ヨーロッパとオリエントを結ぶバルカン半島に位置するため、はるか昔から西と東の文明が交わる地でした。この地で栄えた文明は滅びましたが、その名残りを地名や、文化、言語に見出すことができます。

セルビア観光局は、皆様にセルビアで発展してきた文化を体験していただくため、ナイーブアートのほか、「ローマ皇帝の足跡を訪ねる旅」、「ヨーロッパの伝統を訪ねるロマネスクの旅」、「ドナウ河の要塞を訪ねる旅」などを推奨しております。セルビアでは中央、東ヨーロッパきっての文化の旅が体験できます。

どうぞセルビアにおいていただき、ローマ文明の遺跡を鑑賞し、はるか昔の皇帝の離宮を訪れ、きらびやかな装飾が施されたロマネスク・ビザンチン様式の修道院をお訪ねください。

詳しくは、セルビア観光局の日本語ホームページをご覧ください。

[jp.serbia.travel](http://jp.serbia.travel)



ローマ皇帝ガレリウスの生地（世界遺産）

ストゥデニツァ修道院（世界遺産）



ジチャ修道院

ソボチャニ修道院（世界遺産）のフレスコ画

## アクセス

## セルビア基本情報

ベオグラード：日本から直行便はありませんが、ヨーロッパの主要都市で乗り継いで、出発当日に到着します。  
コバチツァ：ベオグラードからバスで1時間20分  
ヤゴディナ：ベオグラードからバスで1時間40分

国名：セルビア共和国、人口750万人  
首都：ベオグラード、人口173万人  
位置：東南ヨーロッパ、バルカン半島西側  
面積：8万8千km<sup>2</sup>（北海道とほぼ同じ大きさ）  
公用語：セルビア語  
公用文字：キリル文字（ローマ字も広く使用されている）  
最長の川：ドナウ河  
気候：穏やかな大陸性気候  
ビザ：90日以内の観光目的滞在の場合、ビザは不要

### 写真

表紙:ボゴサブ・ジブコビッチ「門」（木製のレリーフ）  
セルビア文化の旅：ブランコ・ヨバノビッチ  
ヤゴディナ・ナイーブアート博物館  
コバチツァ村ナイーブアート美術館

観光案内センター・お土産ショップ  
TOURIST INFORMATION and SOUVENIR SHOP  
Cika Ljubina 8/1st floor, 11000 Belgrade, Serbia  
Tel: +381 (11) 6557-127, E-mail: [info@serbia.travel](mailto:info@serbia.travel)



セルビア観光局  
[jp.serbia.travel](http://jp.serbia.travel)



# セルビア

文化と  
活気に  
満ちた国



ナイーブ  
アート

メルヘン  
の世界

セルビア観光局  
[jp.serbia.travel](http://jp.serbia.travel)



# ナイーブアートとは？

伝統的な美術教育や、表現方法の技術的訓練をまったくか、あるいは、ほとんど受けてない作家たちにより、制作された絵画や彫刻を指します。しかし、ナイーブアーティストは日曜作家と違い、専門教育を受けた芸術家に劣らない熱情を込めて作品を制作します。ナイーブアートは他の絵画に比べ、素朴な力強さや、独創性が評価されています。



エメリク・フェイエシュ「オールド・ベオグラード」

ミラン・ラシッチ「春」



ロザリヤ・マルコブ「小麦刈り」

マルティン・ヨナシュ「私のコバチツァ」

# ヤゴディナのナイーブアート

ヤゴディナはベオグラードから南に135km、コンスタンティヌス大帝の生地、ニシュに向かう高速道路の途中にあります。「独学画家のギャラリー」として知られるナイーブアート博物館が1960年に開設されて以来、ヤゴディナはナイーブアートの中心地になりました。博物館がヤゴディナに開設されたのは、当初の所蔵作品の多くが、近くの村に住んでいたヤンコ・ブラシッチのものだったからです。博物館は、ナイーブアートを収集、展示するだけでなく、その保護と研究にも努めています。現在、博物館は250人のセルビア人と外国人の画家、彫刻家の素朴で、独創的な2,500点のナイーブアートを所蔵し、世界最大級の規模を誇っています。博物館は、2年に1回、ナイーブアート・ビエンナーレを主催し、日本を含む世界各国の作家が出品しています。ナイーブアート博物館サイト：

[www.naiveart.rs](http://www.naiveart.rs)



ミロサブ・ヨバノビッチ「夕暮れ」

サバ・セクリッチ「命の種」

# コバチツァのナイーブアート

ベオグラードの北東約50kmの肥沃な平原に、人口7,000人のコバチツァ村があります。この村は1802年、オーストリア・ハンガリー帝国から、この地に移住してきたスロバキア人が建設しました。1930年代に、スロバキア人の農民や職人たちが絵を描き始め、徐々に絵を描く人たちが増え、1952年に最初の村人たちの展覧会が開かれました。その後、何十年かの間にコバチツァの人たちの絵は、国際的な展覧会に出品され、世界中の注目を集め、各国から観光客を集めています。著名人では、フランスのミッテラン元大統領、アメリカのフォード元大統領、イギリスのロックバンド、ローリング・ストーンズ、ブラジルの「サッカーの王様」ペレなどが訪れています。現在、村にはいろいろな世代の25人の画家が住んでおり、村立のナイーブアート美術館と、私立のバブカ・アート・ギャラリーでナイーブアートを鑑賞することができます。

コバチツァ村ナイーブアート美術館サイト：

[www.naivnaumetnost.com](http://www.naivnaumetnost.com)

バブカ・アート・ギャラリーサイト：

[www.babka.rs](http://www.babka.rs)



バブレ・ハイコ「雄鶏」

エバ・フザリコバ「歩道の少女たち」